



2月の園だより

令和7年2月1日
ほづみ幼稚園

「光の春」 小さな春を見つけよう

1月10日(金)は、今シーズン初めての積雪となりました。登園してきた子供たちは大喜び、早速雪合戦をしたり、雪だるまやかまくらを作ったりして大はしゃぎ。思わぬ雪のプレゼントに子供たちは大喜びでした。

2月の陽光のことを「光の春」と言います。この時期は、時折厳しい寒さとなるものの、動物や植物の中には陽光の明るさに反応して、冬眠から目覚めたり、芽吹いたりして春の気配を感じています。ほづみ幼稚園の園庭でも、色々なところで春を見つけることができるようになります。

木々の芽の膨らみ、オオイヌノフグリ、ホトケノザなど淡い花を咲かせます。子供と共に小さな春を探してみるのも豊かな心を育むことにつながりますね。

楽しい「保育参観：なかよし会」

もうすぐ「2月の保育参観：なかよし会」です。4月から幼稚園で生活してきた中で、一人一人がまたは、クラス全体が(考えたこと・工夫したこと・協力したこと)を発表します。保育参観は、子供たちが活躍する晴れ舞台ですが、その裏側も見ていただきたいのです。

友達と微笑み合ったり、自分なりの表現を楽しみながら友達と一緒に同じ遊びをしたり、友達と協力して準備したり、応援したり…。その姿にクラスの一年がぎゅっと詰まっています。

子供たちの築いてきた温かなクラスの雰囲気は保護者の皆様にも伝わるとおもいます。お子様の成長された姿や様子を皆様に応援してください。

「3つのやくそく」

- ・あいさつをします
- ・さいごまでやりぬきます
- ・やさしくします

機会あるごとに子供たちにお話ししてきた「3つのやくそく」。子供たちを見守る私たちが、この3つを生活の中で意識していると、子供たちの何気ない言動にも「気持ちの良い挨拶ができたね」「手伝ってくれてありがとう」「お片付け最後までやり抜くことができたね」など認める場が増えてきます。認めをかけることで、子供たちは喜びがわき「また頑張ろう・やってみよう」と意欲をもち、次もできたことで自信につながっていきます。そしてその積み重ねが「美しい心」につながっていきます。

12月にお願いしました保護者アンケートの中にも

- ・恥ずかしがってなかなか大きな声で挨拶ができなかったが、最近しっかり挨拶できるようになり嬉しく思います。



- ・お友達と挨拶して一緒に手をつないで登降園しており、友達とふだん仲良く遊んでいるのだなと思った。
- ・他学年の子と交流があり、友達の幅が広がって年齢関係なく仲良く遊べるのがすごく良い。バスの待ちの間も楽しく過ごせています。

など素敵な姿を紹介していただいています。

「3つのやくそく」は、大人になっても人と関わる術として大事な事ばかりです。そのため私たち大人も日々「3つのやくそく」を意識して言動し子供たちに、素敵な姿を見せ続け、子供たちの小さな行為でも見逃さない心と目をもち続けたいです。

バスコースについてのお知らせ

令和7年度のバスコースは、黄バスコース2コース・かきバスコース2コースの計4コースです。令和7年度4月からのバス時刻表を配布しましたので、ご確認をお願いいたします。バスコース変更後のバスバッチの色が変更になりましたら、園より配布させていただきます。ご理解・ご協力の程、よろしく願いいたします。



節分



年少



年中

節分には“季節の変わり目”“季節を分ける”という意味があり、立春、立夏、立秋、立冬の前日を指します。昔は立春が1年の始まりでした。節分では、鬼(=悪いものや災い)を追い払い、年の数だけ豆を食べて1年間の無病息災を祈ります。

今年は2024年がうるう年にあたることから、翌2025年の立春は2月3日に早まり、今年の節分は4年ぶりに2月2日です。

園では、2月3日に節分の会を行います。子供が自分のお腹の中に“泣き虫鬼”“おこりんぼう鬼”などの鬼がいないかを振り返り、節分の行事を楽しみます。各年次、それぞれ工夫したお面を作成し、鬼になりきって豆まきごっこをする姿も見られます。給食に鰯が出ると「鬼が嫌いな食べ物だ」と鬼をやっつけたい思いで食べる姿が見られます。1月16日から園内にもブラブラ鬼が登場！A棟には赤鬼、B棟には青鬼、C棟には緑鬼。どのブラブラ鬼も子供たちが自分で作った新聞の豆で毎日退治中です～おうちでも今年はどうな鬼をどうやって退治するか、相談してみるのもいいかもしれませんね。そして、明るい笑い声が響き心まで休まる、お多福さんでいっぱいのご家庭にしていきたいですね。

幼稚園では、豆のかわりに「かぼちゃボーロ」をいただきます。



年長

友達と活動することに「喜び」を感じる2月に

今、子供たちは運動遊びなど自分なりに挑戦を楽しむ遊びと、お話の世界に入り込み想像の世界を楽しむ姿、遊びに必要な物を作りあげて楽しむ姿などが見られます。

「あんなことがしてみたいな」「～になりたいな・・・」「仲良しのあの子と一緒にやりたい」こんなわくわくした楽しい気持ちの中で、力を発揮し『やったね!』の気持ちを友達や周りの人と共有していくことは、子供にとって大きな力になっていきます。

子供が望んでいることは、大きくいって2つあります。やろうとしたことをのびのびとできる表現する時間。それを「なるほどね」「楽しいね」「うんうん」と共有して受け止めてくれる人～自分の力で、大きく羽ばたこうとしている子供たちには是非、共感のメッセージやプラスの言葉を与えていただけたらと思います。

2月19日(水)年中、20日(木)年少、21日(金)年長の保育参観を計画しています。子供たちにとって『友達と共に活動する喜び』を体験することは、人格の基礎を形成していく過程でとても大切なことです。「チャレンジ遊び」や「劇ごっこ」等の遊びを核にして、『友達と共に活動する喜び』を味わわせていきたいと思っています。

～親子で絵本を読んでほかほか気分になろう!～

絵本でかける「ま・ほ・う」

子供との関わりの基本は「ま」(子供をまねる)、「ほ」(子供を褒める)、「う」(子供のうれしい気持ちと結び付ける)です。絵本を読む場面では、子供の発声・声をまねる、よく知っているねと褒める、絵本を介して一緒にいるうれしさを味わえるようにするなどが当てはまるでしょう。「まほう」は、子供が自分に自信をもつことにもつながられます。絵本の時間、園でも、お家でも大切にしたいですね。